

## シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学 1 年	未来探究	国語	国語	4（うち書写 1）
<b>教科書・教材</b>				
『国語 1』 光村図書、『中学書写』 教育出版、『硬筆練習帳』 教育出版、 『くりかえし漢字 1』 秀学社、『国語便覧』 浜島書店、『まんがで理解 楽しい文法』 とうほう、 『3年間の国語ぎゅぎゅっと総まとめ』 明治図書				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。基礎教養の習得として、反復的な漢字学習を行い、デキタスを使用し読解の基本も学ぶ。更に、課題解決的な学習を行い、各自が研究し、思索を深めた学習内容を様々な手段で発表する機会を持てるようにする。書写の観点では、字形を整え、文字の大きさ・配列などについて理解し、楷書で書く力を養い、更に楷書より早く書くことができる行書の基本的な書き方を学習する。EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
<b>1 学期</b>	詩：音読になれ、作品の描く世界に思索を深める。 小説：心情や行動を表す言葉に注意して読み、場面の展開に沿って、登場人物の心情の変化を読み取る。 説明文：段落の役割や比較表現に注意して読み、筆者の主張を読み取る。 書写：楷書「氏名」、楷書「基本点画」 デキタス 4・5・6
	説明文：段落の役割に注意して読み、筆者の主張と事例の関係を読み取る。 読書を楽しみ、本の探し方を考える。言語活動・文法。 書写：楷書「天」「地」、二字書き「天地」、暑中見舞いの書式、和綴じ作品集作り デキタス 1・9
<b>2 学期</b>	詩：詩の言葉を読み味わい、語感を磨き、情景を想像して読み取る。 説明文：段落の役割や比喻表現に注意して読み、筆者の主張を正確に読み取る。 小説：登場人物の行動や心情の変化を読み取り、自分の考えを広げる。 書写：行書「氏名」、行書「基本点画」、行書「大木」 デキタス 2・8・10
	小説：登場人物の行動や心情の変化を読み取り、自分の考えを広げる。 説明文：筆者の主張と根拠の関係をつかみ、読み取る。 古典：古典学習の基本について学び、歴史的背景にも考えを深める。 書写：行書「栄光」、「平和」、書き初め。 言語活動・文法 デキタス 3
<b>3 学期</b>	文学的な文章と説明的な文章、古典を読むための中学 1 年生学習事項を復習する。 書写：硬筆の書『硬筆練習帳』。 言語活動・文法 デキタス 7
<b>評価方法</b>	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、書写作品、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	

備考

## シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学2年	未来探究	国語	国語	4
<b>教科書・教材</b>				
『国語2』光村図書、『中学書写』教育出版、『硬筆練習帳』教育出版、 『くりかえし漢字2』秀学社、『国語便覧』浜島書店、『まんがで理解 楽しい文法』とうほう、 『3年間の国語ぎゅぎゅっと総まとめ』明治図書				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。基礎教養の習得として、反復的な漢字学習を行い、デキタスを使用し読解の基本も学ぶ。また、課題解決的な学習を行い、各自が研究し、思索を深めた学習内容を様々な手段で発表する機会を持てるようにする。EdTech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
<b>1学期</b>	小説：心情や行動を表す言葉に注意して読み、登場人物の考え方を読み取る。 古文：作者のものの見方や感じ方に触れ、読み味わう。デキタス4・5 説明文：文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読み、理解を深める。 読書を楽しみ、本の探し方を考える。言語活動・文法 書写：硬筆の書『硬筆練習帳』 デキタス9・10
<b>2学期</b>	短歌：語感を磨き、知識や経験を結びつけて読みを深める。 随筆：さまざまな考え方を学び、知識や経験を結びつけて読みを深める。 小説：心情や行動を表す言葉に注意して読み、登場人物の人柄や心情を読み取る。 デキタス6・7 随筆：筆者の思いを捉える随筆の味わい方を知り、日常の読書に活かす。 説明文：適切な根拠な在り方について理解し、文章の構成や論理の展開を吟味する。 古典：古典学習の基本について学び、登場人物・筆者の心情にも思いを深める。 書写：書き初め指導 言語活動・文法 デキタス1・2
<b>3学期</b>	文学的な文章と説明的な文章、古典を読むための中学2年生学習事項を復習する。 書写：硬筆の書『硬筆練習帳』 言語活動・文法 デキタス3・8
<b>評価方法</b>	
定期考査（70％）、小テスト、課題等の提出物、書写作品、授業に取り組む姿勢など（30％）により評価する。	

<b>備考</b>

## シラバス〔教科名〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学3年	特進進学	国語	国語	4
<b>教科書・教材</b>				
『国語3』光村図書、『中学書写』教育出版、『硬筆練習帳』教育出版、 『くりかえし漢字3』秀学社、『国語便覧』浜島書店、『まんがで理解 楽しい文法』とうほう、 『3年間の国語ぎゅぎゅっと総まとめ』明治図書				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。小テストや授業中に反復的な学習を行い、語彙力と文法力等の基礎的な力を養う。読解力だけではなく、聞く力や話す力を継続的に高めることができるよう、話し合いや発表の機会を多く設ける。難しい文章にチャレンジし、応用力の養成を行う。EdTech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
<b>1学期</b>	小説：作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。 論説：具体と抽象の関係を捉え、文章の構成や論理の展開を評価する。 漢文：長く受け継がれてきた名言に触れ、人間の生き方について自分たちと関連付けて考える。問題演習 デキタス1・4・11・15 俳句：特徴について理解を深め、内容や表現のしかたに着目して、読み深める。 読書を楽しむと同時に、本の探し方を考える。言語活動・文法・問題演習 書写：硬筆の書『硬筆練習帳』 デキタス2・3・5・14
<b>2学期</b>	小説：作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 論説：情報の信頼性を確かめながら読み、これからの社会の在り方について自分の意見を持つ。問題演習 デキタス7・8・10 古文：詠まれた状況や歴史的背景を理解し、和歌や俳句の世界に親しむ。作者の心情や描かれた情景を読み取り、表現の効果などについて考える。 論説：抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味に注意しながら読み、筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。 問題演習 書写：書き初め指導 デキタス9・11・12・13
<b>3学期</b>	文学的な文章と説明的な文章を読むための基本的な観点を復習し、中学の総仕上げを行う。問題演習 書写：硬筆の書『硬筆練習帳』 デキタス6・17・18
<b>評価方法</b>	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、書写作品、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	

<b>備考</b>

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	未来探究	国語	現代の国語	2
<b>教科書・教材</b>				
『新編現代の国語』数研出版、『新編現代の国語 準拠ワーク』数研出版				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。様々な分野の評論文を通して知識や論理的に文章を読む力を身につけ、筆者の主張や主題等について、自分の考えや課題を持つ。資料を扱ったり表現を工夫したりして書くこと、説明をしたり意見を発表したり情報を聞き取り話し合いをすることを通して、話すこと・聞くことの力を身につける。これらの学習を通して、多角的なものの見方や考え方を知り、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。Edtech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。</p>	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
<b>1学期</b>	<p>書き手の意図をつかむ：本文中の表現について、筆者の意図やその効果を考える。 対比を読み取る：日本と西洋の感じ方の違いが表れているものを取り上げて考察する。 適切に話す・聞く（スピーチ）</p> <p>文章の展開を把握する：論の展開を整理して、本文の要点をつかむ。 言葉の働きをとらえる：具体例を読み解き、「レトリック」の意義を理解する。 話し合いの方法（ディベート・討議）</p>
<b>2学期</b>	<p>日常の中の文章：ある事物や出来事について、その内容を正確に伝える説明のしかたを身につける。 コミュニケーションと言葉：日常的な言葉のやりとりに着目し、その背景にある知識や話し手の含意を読み取る。</p> <p>書き手の考えを比較する：筆者の意見に対して自分はどのように考えるか、根拠を示しながら論理的に述べる。 根拠を読み取る：本文の結論を踏まえて、「差」が持つ意味を考察する。</p>
<b>3学期</b>	<p>文章構造を理解する：文章の一貫性を高めるための工夫を理解する。 課題を発見し解決策を発表する（SDGs解説文）：SDGsの解説文を読み、社会にある課題を見つけ、情報を収集して解決策を検討する。</p>
<b>評価方法</b>	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	

<b>備考</b>

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選抜	国語	現代の国語	2
<b>教科書</b>				
『高等学校 現代の国語』数研出版、『高等学校 現代の国語 準拠ワーク』数研出版				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。様々な分野の評論文を通して知識や論理的に文章を読む力を身につけ、筆者の主張や主題等について、自分の考えや課題を持つ。資料を扱ったり表現を工夫したりして書くこと、説明をしたり意見を発表したり情報を聞き取り話し合いをすることを通して、話すこと・聞くことの力を身につける。これらの学習を通して、多角的なもの見方や考え方を知り、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。Edtech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。</p>	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
1 学期	<p>対比の構造：対比によって物事をとらえやすく示す。 情報の聞き取り方</p> <p>一般論と主張：一般的に常識とされている事柄に対して、筆者がどのような主張をしているかを読み取る。 論理とレトリック：具体例を読み解き、「レトリック」の意義を理解する。 説得力のある話し方</p>
2 学期	<p>実用の文章（図と文章）：コミュニケーションの手段を考える。 具体と抽象：具体と抽象の対応をとらえながら読む。</p> <p>比較する：筆者の意見に対して自分はどうのように考えるか、根拠を示しながら論理的に述べる。 視野を広げる：自己を知るために、他者との関係性に目を向ける。 論証する</p>
3 学期	<p>思考を深める－関連づけて読む：近代と時間の関係を意識しながら文章を読む。 課題を発見し解決策を発表する（SDGs 解説文）：SDGs の解説文を読み、社会にある課題を見つけ、情報を収集して解決策を検討する。</p>
<b>評価方法</b>	
<p>定期考査（70％）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30％）により評価する。</p>	

<b>備考</b>

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	音楽科	国語	現代の国語	2
<b>教科書・教材</b>				
『新編現代の国語』数研出版、『新編現代の国語 準拠ワーク』数研出版				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。様々な分野の評論文を通して知識や論理的に文章を読む力を身につけ、筆者の主張や主題等について、自分の考えや課題を持つ。資料を扱ったり表現を工夫したりして書くこと、説明をしたり意見を発表したり情報を聞き取り話し合いをすることを通して、話すこと・聞くことの力を身につける。これらの学習を通して、多角的なものの見方や考え方を知り、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。Edtech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。</p>	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
<b>1 学期</b>	<p>書き手の意図をつかむ：本文中の表現について、筆者の意図やその効果を考える。 対比を読み取る：日本と西洋の感じ方の違いが表れているものを取り上げて考察する。 適切に話す・聞く（スピーチ）</p> <p>文章の展開を把握する：論の展開を整理して、本文の要点をつかむ。 言葉の働きをとらえる：具体例を読み解き、「レトリック」の意義を理解する。 話し合いの方法（ディベート・討議）</p>
<b>2 学期</b>	<p>日常の中の文章：ある事物や出来事について、その内容を正確に伝える説明のしかたを身につける。 コミュニケーションと言葉：日常的な言葉のやりとりに着目し、その背景にある知識や話し手の含意を読み取る。</p> <p>書き手の考えを比較する：筆者の意見に対して自分はどうのように考えるか、根拠を示しながら論理的に述べる。 根拠を読み取る：本文の結論を踏まえて、「差」が持つ意味を考察する。</p>
<b>3 学期</b>	<p>文章構造を理解する：文章の一貫性を高めるための工夫を理解する。 課題を発見し解決策を発表する（SDGs 解説文）：SDGs の解説文を読み、社会にある課題を見つけ、情報を収集して解決策を検討する。</p>
<b>評価方法</b>	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	

<b>備考</b>

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	未来探究	国語	言語文化	2
<b>教科書</b>				
『新編言語文化』数研出版、『新編言語文化 準拠ワーク』数研出版				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解し、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。EdTech教材を活用し、個別最適化学習を行う。</p>	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
1学期	<p>古文：説話集 小説の素材となった古文を学習し、小説との違いを比較する。 現代文学：小説 古文を素材とした小説を学習し、古文との違いを比較する。</p> <p>古文：説話集 古文の基礎基本を、説話集を使って、学習する。 漢文：訓読の基本 漢文を読むための基礎基本を学習する。 現代文学：小説 「ことば」に関する小説を学習し、テーマと人物像を学習する。</p>
2学期	<p>古文：随筆、和歌集 中世の作品を扱い、その当時の世界観を学習する。また、和歌集を扱い、その世界観を体験し、感性を磨く。 現代文学：詩歌、小説 詩歌と現代作家の小説作品を読み、詩歌ではその作品の鑑賞を行い、小説では、人物の心情の変化などを学習する。</p> <p>古文：歌物語 宮廷文学を学習し、時代背景や当時の人々の世界観を学習する。 漢文：故事と成語 日本語へと入り込んだ故事成語の原点を学習する。 現代文学：小説 著名な作家の作品を読み、テーマと人物像を学習する。</p>
3学期	<p>古文：軍記物語、旅日記 戦争を扱った古文を学習し、世界観や人物像を学習する。 漢文：漢詩 漢詩を鑑賞し、漢詩の基本と人間のものの見方、感じ方を学習する。 現代文学：小説 戦争を扱った小説を学習し、世界観や人物像を学習する。</p>
<b>評価方法</b>	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。</p>	

<b>備考</b>

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選抜	国語	言語文化	2
<b>教科書</b>				
『高等学校 言語文化』数研出版、『高等学校 言語文化 準拠ワーク』数研出版				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解し、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。EdTech教材を活用し、個別最適化学習を行う。</p>	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
1 学期	<p>古文：説話集 小説の素材となった古文を学習し、小説との違いを比較する。 現代文学：小説 古文を素材とした小説を学習し、古文との違いを比較する。</p> <p>古文：説話集、作り物語 古文の基礎基本を、説話集を使って、学習する。 漢文：漢文入門 漢文を読むための基礎基本を入門編として学習する。 現代文学：小説 特殊な素材を扱った小説を学習し、テーマと人物像を学習する。</p>
2 学期	<p>古文：随筆、歌物語 中世の世界観を学習するとともに、平安時代の生活を学習する。 漢文：故事と成語 日本語へと入り込んだ故事成語の原点を学習する。 現代文学：小説 中国の小説を典拠とした小説を学習し、その影響を受けた思想や人物像などを学習する。</p> <p>古文：随筆、日記 宮廷文学を学習し、時代背景や当時の人々の世界観を学習する。 漢文：歴史書（十八史略） 歴史書を読み、人物像やその当時の価値観を学習する。 現代文学：小説 現代作家の作品を読み、人物の心情の変化などを学習する。</p>
3 学期	<p>古文：軍記物語、旅日記 戦争を扱った古文を学習し、世界観や人物像を学習する。 漢文：漢詩 漢詩を鑑賞し、漢詩の基本と人間のものの見方、感じ方を学習する。 現代文学：小説 戦争を扱った小説を学習し、世界観や人物像を学習する。</p>
<b>評価方法</b>	
<p>小定期考査（70％）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30％）により評価する。</p>	

<b>備 考</b>



## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	音楽科	国語	言語文化	2
<b>教科書</b>				
『新編言語文化』数研出版、『新編言語文化 準拠ワーク』数研出版				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解し、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。EdTech教材を活用し、個別最適化学習を行う。</p>	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
1 学期	<p>古文：説話集 小説の素材となった古文を学習し、小説との違いを比較する。 現代文学：小説 古文を素材とした小説を学習し、古文との違いを比較する。</p> <p>古文：説話集 古文の基礎基本を、説話集を使って、学習する。 漢文：訓読の基本 漢文を読むための基礎基本を学習する。 現代文学：小説 「ことば」に関する小説を学習し、テーマと人物像を学習する。</p>
2 学期	<p>古文：随筆、和歌集 中世の作品を扱い、その当時の世界観を学習する。また、和歌集を扱い、その世界観を体験し、感性を磨く。 現代文学：詩歌、小説 詩歌と現代作家の小説作品を読み、詩歌ではその作品の鑑賞を行い、小説では、人物の心情の変化などを学習する。</p> <p>古文：歌物語 宮廷文学を学習し、時代背景や当時の人々の世界観を学習する。 漢文：故事と成語 日本語へと入り込んだ故事成語の原点を学習する。 現代文学：小説 著名な作家の作品を読み、テーマと人物像を学習する。</p>
3 学期	<p>古文：軍記物語、旅日記 戦争を扱った古文を学習し、世界観や人物像を学習する。 漢文：漢詩 漢詩を鑑賞し、漢詩の基本と人間のものの見方、感じ方を学習する。 現代文学：小説 戦争を扱った小説を学習し、世界観や人物像を学習する。</p>
<b>評価方法</b>	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。</p>	

<b>備考</b>

## シラバス〔芸術〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選択	芸術	書道 I	2
教科書・教材 『書 I』 教育図書 『楷書の手ほどき』 教育図書				
授業のねらい（年間指導目標） 書道の幅広い活動を通し、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。				
授業の進め方（年間指導計画）				
1 学期	「楷書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、中国古典の名筆から用筆・運筆の技能を身に付ける。 「創作」学んだ用筆・運筆の技能を活かし表現力を身に付ける。 「団扇」「短冊」日常生活と書の文化との関わりを通して心豊かな創造力を身に付ける。			
2 学期	「行書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、中国と日本の古典の名筆から用筆・運筆技能を身に付ける。 「創作」学んだ用筆・運筆技能を活かし表現力を身に付ける。 「年賀状」日常生活と書の文化との関わりを通して心豊かな創造力を身に付ける。			
3 学期	「仮名」書道史から漢字と仮名の関係と日本独自の仮名の成立を理解し、日本の古典の名筆から用筆・運筆の技能を身に付ける。 「仮名漢字交じり」「カレンダー」者の用筆・運筆の技能を活かし、表現力を身に付ける。			
評価方法				
「古典臨書作品」「創作作品」授業時の「書」に取り組む意欲と姿勢により評価する。作品70%、平常点30%。				

備考

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	未来探究コース	国語	現代文B	2
<b>教科書・教材</b>				
『新編現代文B』 東京書籍		『評論速読トレーニング1000』 数研出版		
『現代文単語ノート』 文英堂		『新編現代文B 学習課題ノート』 東京書籍		

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。様々な分野の文章を通して知識や論理的に文章を読む力を身につけ、筆者の主張や主題等について、自分の考えや課題を持つ。資料を扱ったり表現を工夫したりして書くこと、説明をしたり意見を発表したり情報を聞き取り話し合いをすることを通して、話すこと・聞くことの基礎的な知識・技能を身につける。EdTech教材を活用し、個別最適化学習を行う。</p>	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
<b>1学期</b>	<p>随想：表現の特徴をつかみ、筆者の考え方・感じ方を読み取る。</p> <p>小説：表現・時代背景等を把握し、登場人物の心情を読み取る。</p> <p>評論：文章の構成・展開等を把握し、要旨を的確に捉える。</p> <p>詩歌：背後にある歴史的社会的な出来事を理解し、それぞれの表現・リズムを味わう。</p>
<b>2学期</b>	<p>小説：寓話的な小説の世界を味わい、現代社会が抱える問題について考える。</p> <p>評論：比喩表現に注意し、提示された問題を的確に把握し、自分の意見をまとめる。</p> <p>小説：人物の性格・心理描写を的確に把握し、人の心のありようについて考える。</p>
<b>3学期</b>	<p>評論：比喩表現に注意し、提示された問題を的確に把握し、自分の意見をまとめる。</p> <p>随筆：さまざまな観点から書かれた働く人の文章を読み、「働く」ことについて考えを深める。</p>
<b>評価方法</b>	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。</p>	

<b>備考</b>

## シラバス（国語）

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選抜	国語	現代文B	2
<b>教科書・教材</b>				
『精選現代文B』東京書籍、『学習課題ノート』東京書籍 『現代文単語ノート』文英堂、『評論速読トレーニング1000』数研出版				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。様々な分野の文章を通して知識や論理的に文章を読む力をつけ、筆者の主張や主題等について、自分の考えや課題を持つ。資料を扱ったり表現を工夫したりして書くこと、説明をしたり意見を発表したり情報を聞き取り話し合いをすることを通して、話すこと・聞くことの基礎的な知識・技能を身につける。Edtech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
1学期	<p>評論：表現の特徴に注意して筆者の主張を的確に捉えるとともに、筆者の着眼のおもしろさについて自分の意見をまとめる。</p> <p>小説：描かれた場面や登場人物について表現に即して捉えるとともに、作者や作品の背景を調べたり、他の作品と比較するなどして発表する。</p> <p>評論：根拠を確かめながら筆者の主張を捉える。</p>
2学期	<p>詩歌：詩・短歌・俳句それぞれの表現の特徴を理解して味わう。</p> <p>評論：複数の評論を読み、内容・構成・表現を比較するとともに、自分自身の意見を文章にまとめる。</p> <p>小説：場面展開や、人物の性格・心理の描写を読み取る。テーマを設定して話し合い、小説に対する理解を深める。</p>
3学期	<p>評論：社会と人間の在り方を主題とする評論を読み、自己の価値観と照らし合わせて考える。複数の図をもとに自分の意見をまとめ、論じる。</p>
<b>評価方法</b>	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	
<b>備考</b>	

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	音楽科	国語	現代文B	2
<b>教科書・教材</b>				
『新編現代文B』 東京書籍		『評論速読トレーニング1000』 数研出版		
『現代文単語ノート』 文英堂		『新編現代文B 学習課題ノート』 東京書籍		

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。様々な分野の文章を通して知識や論理的に文章を読む力を身につけ、筆者の主張や主題等について、自分の考えや課題を持つ。資料を扱ったり表現を工夫したりして書くこと、説明をしたり意見を発表したり情報を聞き取り話し合いをすることを通して、話すこと・聞くことの基礎的な知識・技能を身につける。Edtech教材を取り入れ、個別最適化学習を行う。</p>	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
<b>1学期</b>	<p>随想：表現の特徴をつかみ、筆者の考え方・感じ方を読み取る。</p> <p>小説：表現・時代背景等を把握し、登場人物の心情を読み取る。</p> <p>評論：文章の構成・展開等を把握し、要旨を的確に捉える。</p> <p>詩歌：背後にある歴史的社会的な出来事を理解し、それぞれの表現・リズムを味わう。</p>
<b>2学期</b>	<p>小説：寓話的な小説の世界を味わい、現代社会が抱える問題について考える。</p> <p>評論：比喩表現に注意し、提示された問題を的確に把握し、自分の意見をまとめる。</p> <p>小説：人物の性格・心理描写を的確に把握し、人の心のありようについて考える。</p>
<b>3学期</b>	<p>評論：比喩表現に注意し、提示された問題を的確に把握し、自分の意見をまとめる。</p> <p>随筆：さまざまな観点から書かれた働く人の文章を読み、「働く」ことについて考えを深める。</p>
<b>評価方法</b>	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。</p>	

<b>備考</b>

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	未来探究	国語	古典B	4
教科書・教材				
『新編古典B』東京書籍				

授業のねらい（年間指導目標）	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。古文を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、古典に親しむことによって、人生を豊かにする態度を育てる。EdTech教材やプリントなどを使用し、個別の能力に応じた学習を進めていく。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	古文：説話 説話を読み、その展開や内容のおもしろさを捉える。 漢文：小話 さまざまな文章を読み、話の内容を正確に理解する。
	古文：物語 物語の内容を叙述に即して読み取る。 漢文：小話 さまざまな文章を読み、話の内容を正確に理解する。
2学期	古文：随筆 随筆を読み、その内容や作者の考え方を読み取る。 漢文：文 豊かな詩情や明確な主張を捉え、ものの見方や感じ方、考え方を広げる。
	古文：日記 作者の境遇を確かめながら、日記に書かれた出来事や作者の心情を的確に捉える。 漢文：史記 人物の行動や心情、起こった出来事などを読み取る。
	古文 軍記物語 軍記物語を読み、登場人物の生き方について読み取る。 漢文 寓話 寓話や故事成語の意味について理解を深める。
評価方法	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	

備考

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選抜コース	国語	古典B	4
<b>教科書・教材</b>				
『精選古典B』古文編 東京書籍		『精選古典B』漢文編 東京書籍		
『古典解析文法』桐原書店		『重要古文単語315』（桐原書店）		

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。古文・漢文を読む基礎となる文語文法を身につけ、文化的背景を理解する。古典作品の読解を通して、古人のものの考え方、生き方、感じ方などの理解を深め、自分の生き方や考え方を豊かにする。Edtech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。</p>	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
1学期	<p>古文：説話 古典文法を確認しつつ古文に慣れ、物語の展開や内容のおもしろさを味わう。 物語 和歌に着目し、登場人物の行動や心情を捉える。 漢文：小話 漢文の読み方を確認しつつ漢文に慣れ、話の展開や内容のおもしろさを味わう。</p> <p>古文：随筆 随筆の内容を的確に捉え、古人の感性に触れる。 軍記物語 表現の特色を理解し、登場人物の生き方について考える。 漢文：詩 唐詩の鑑賞を通して、言語感覚や想像力を豊かにする。</p>
2学期	<p>古文：随筆 言葉の変遷という観点から、古語と現代語を比較し、国語の特質について考える。作者のものの見方や感じ方、考え方の違いについて考察する。 日記 作者の境遇や出来事を的確に捉え、ものの見方や感じ方、考え方を理解する。 漢文：史記 歴史上の人物の行動や心情を読み取り、その生き方を通して人間のあり方について関心を深める。</p> <p>古文：物語 内容を的確に読み取り、登場人物の行動や心情を捉える。関心をもった事柄について調べ、古典や日本の文化について考察する。 詩歌 詩歌の韻律や技巧を理解し表現を味わい、古人の優れた感性に触れる。 漢文：思想 儒家と道家の二つの思想を読み取り、人間の生き方や日本への影響について思索を深める。</p>
3学期	<p>古文：近世の文章 中古・中世の文章との違いを考え、近世の文章の特色を知る。 漢文：小説 話の展開に即して内容を正確に把握し、小説のおもしろさを味わう。</p>
<b>評価方法</b>	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	

<b>備考</b>
-----------

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	音楽科	国語	古典B	2
教科書・教材				
『新編古典B』東京書籍, 『新編古典B 学習課題ノート』東京書籍				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。古文・漢文を読む基礎となる文語文法を身につけ、文化的背景を理解する。古典作品の読解を通して、古人のものの考え方、生き方、感じ方などの理解を深め、自分の生き方や考え方を豊かにする。Edtech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	古文 説話 説話を読み、その展開や内容のおもしろさを捉える
	漢文 小話 ささまざまな文章を読み、話の内容を正確に理解する
	古文 物語 物語の内容を叙述に即して読み取る
	漢文 小話 ささまざまな文章を読み、話の内容を正確に理解する
2学期	古文 随筆 随筆を読み、その内容や作者の考え方を読み取る
	漢文 文 豊かな詩情や明確な主張を捉え、ものの見方や感じ方、考え方を広げる
	古文 日記 作者の境遇を確かめながら、日記に書かれた出来事や作者の心情を的確に捉える
	漢文 史記 人物の行動や心情、起こった出来事などを読み取る
3学期	古文 軍記物語 軍記物語を読み、登場人物の生き方について読み取る
	漢文 寓話 寓話や故事成語の意味について理解を深める
評価方法	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	

備考



## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選択Y	国語	現代文演習	2
<b>教科書・教材</b>				
『現代文解法のテクニック1』啓隆社				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
問題演習を通して、文章を論理的に読み解く練習をすることで、大学入試に向けた実力を養成する。	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
<b>1学期</b>	問題集『現代文解法のテクニック1』1～3、 評論の読み方・資料の読み方・接続詞
	問題集『現代文解法のテクニック1』4～6、15 指示語・脱文挿入・資料問題1・小説の読み方
<b>2学期</b>	問題集『現代文解法のテクニック1』7～9、16 問題提起と筆者の主張・抽象と具体・対比・心情理解
	問題集『現代文解法のテクニック1』10～12、17 内容説明・理由説明・段落分け・情景描写
<b>3学期</b>	問題集『現代文解法のテクニック1』13・14、18 要約・資料問題2・文芸評論(複数資料)
<b>評価方法</b>	
定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。	

<b>備考</b>

シラバス〔芸術〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選択	芸術	書道Ⅱ	2
<b>教科書・教材</b> 『書Ⅱ』教育図書 『楷書の手ほどき』教育図書 『手本蘭亭序』教育図書 『硬筆レッスン』教育図書				
<b>授業のねらい（年間指導目標）</b> 書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせて、生活や社会の中の文字書、書の伝統文化と深く関わる資質・能力を育成する。				
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>				
1学期	「隸書」「篆書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、最古の漢字甲骨文や金文を現代の用具筆で表現する技能を身に付ける。 「創作」楷・行・隸・篆の四体の用筆・運筆の技能を活かし表現力を身に付ける。			
2学期	「行書」「草書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、中国と日本の古典の名筆から用筆・運筆の技術を身に付ける。 「創作」学んだ用筆・運筆の技能を活かし、表現力を身に付ける。 「年賀状」日常生活と書の文化との関わりを通して、心豊かな創造力を身に付ける。			
3学期	「仮名」日本の古典の名筆から、用筆・運筆の技能と、散らし書きや墨継ぎによる優美な書表現を身に付ける。 「日常書」「熨斗」の種類と用途を知り、書と日常生活の関わりを学び、学習の成果を生活に活かす力を身に付ける。			
<b>評価方法</b> 「古典臨書作品」「創作作品」「日常書」授業時の「書」に取り組む意欲と姿勢により評価する。作品70%、平常点30%。				
<b>備考</b>				

## シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	進学	国語	現代文B	3
<b>教科書・教材</b>				
『新編現代文B』東京書籍、『学習課題ノート』東京書籍、『現代文単語ノート』文英堂				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
近代以降のさまざまな文章を読み、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。EdTech教材を活用し、個別最適化学習を行う。	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
<b>1学期</b>	<p>評論：論理展開に注意して評論を読み、扱われている問題を的確に捉えるとともに、自分の考えを持ち、発表する。</p> <p>小説：小説の登場人物の行動や内面を探り、人間への理解を深める。テーマを設定してグループで話し合い、作品をより深く理解する。</p> <p>随想：体験に基づく随想を読んで、筆者の思いを表現に注意して捉えるとともに、自分自身の体験をもとに文章を書く。</p> <p>詩歌：さまざまな詩歌を読んで、鑑賞力を高め、豊かな感性を養う。</p>
<b>2学期</b>	<p>評論：比較の手法を用いた評論を読んで、筆者の主張を的確に捉えるとともに、それに対する自分の意見を文章にまとめる。</p> <p>小説：背景となる社会状況に注意して小説を読み、人間の生き方について考える。</p> <p>評論：具体例と抽象的な説明に着目して、評論の内容を的確に読み取る。本文に述べられたことについて、話し合ったり調べたりして考えを深める。</p>
<b>3学期</b>	小説：多様な表現方法を用いて書かれた近代小説の世界を味わう。
<b>評価方法</b>	
定期考査（70％）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30％）により評価する。	

<b>備考</b>

## シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	特進	国語	現代文B	2
<b>教科書・教材</b>				
『精選現代文B』東京書籍、『学習課題ノート』東京書籍、『現代文単語ノート』文英堂				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
近代以降のさまざまな文章を読み、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。EdTech教材を活用し、個別最適化学習を行う。	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
<b>1学期</b>	評論：抽象的な事柄を論じた評論を読み、自分の考えを深める。
	小説：場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解する。
	評論：近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考える。
<b>2学期</b>	随想：随想を読み、そこに描かれた内容を表現に即して捉える。
	評論：叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。
	小説：文語文で書かれた小説を読み、そこに描かれた内容を理解して味わう 評論：筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げる。
<b>3学期</b>	小説：現代小説を読み、場面や登場人物の設定と話の展開を捉える。
<b>評価方法</b>	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	

<b>備考</b>

## シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	S特進	国語	現代文B	2
<b>教科書・教材</b>				
『精選現代文B』東京書籍、『学習課題ノート』東京書籍、『現代文単語ノート』文英堂				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
近代以降のさまざまな文章を読み、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。EdTech教材を活用し、個別最適化学習を行う。	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
<b>1学期</b>	評論：抽象的な事柄を論じた評論を読み、自分の考えを深める。
	小説：場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解する。
	評論：近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考える。
<b>2学期</b>	随想：随想を読み、そこに描かれた内容を表現に即して捉える。
	評論：叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。
	小説：文語文で書かれた小説を読み、そこに描かれた内容を理解して味わう。
<b>3学期</b>	評論：筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げる。
	小説：現代小説を読み、場面や登場人物の設定と話の展開を捉える。
<b>評価方法</b>	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	

<b>備考</b>

## シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	音楽科	国語	現代文B	3
<b>教科書・教材</b>				
『新編現代文B』東京書籍、『学習課題ノート』東京書籍、『現代文単語ノート』文英堂				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
近代以降のさまざまな文章を読み、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。EdTech教材を活用し、個別最適化学習を行う。	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
<b>1学期</b>	<p>評論：論理展開に注意して評論を読み、扱われている問題を的確に捉えるとともに、自分の考えを持ち、発表する。</p> <p>小説：小説の登場人物の行動や内面を探り、人間への理解を深める。テーマを設定してグループで話し合い、作品をより深く理解する。</p> <p>随想：体験に基づく随想を読んで、筆者の思いを表現に注意して捉えるとともに、自分自身の体験をもとに文章を書く。</p> <p>詩歌：さまざまな詩歌を読んで、鑑賞力を高め、豊かな感性を養う。</p>
<b>2学期</b>	<p>評論：比較の手法を用いた評論を読んで、筆者の主張を的確に捉えるとともに、それに対する自分の意見を文章にまとめる。</p> <p>小説：背景となる社会状況に注意して小説を読み、人間の生き方について考える。</p> <p>評論：具体例と抽象的な説明に着目して、評論の内容を的確に読み取る。本文に述べられたことについて、話し合ったり調べたりして考えを深める。</p>
<b>3学期</b>	小説：多様な表現方法を用いて書かれた近代小説の世界を味わう。
<b>評価方法</b>	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	

<b>備考</b>

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	音楽科	国語	古典B	3
<b>教科書</b>				
『新編古典B』東京書籍				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。古文を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、古典に親しむことによって、人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>古代から時代順にその時代を代表する作品を扱い、文学史観を養い、兵庫に関わりのある古典作品を取り上げ、郷土に対する理解を深める。共通テストを受験する生徒に対しては EdTech 教材や対策プリントなどを使用し、共通テストに対応できる力を養成していく。</p>	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
1 学期	<p>古代の文学：神話や和歌を通して古代人の物の見方や考え方をつかむ。</p> <p>王朝の文学：和歌に親しみ現代に通じる古代人の感性について学ぶ。</p> <p>王朝の文学：物語文学を読み、王朝特有の世界観を理解し、その中で生きる人間の生き方について学びふ。</p>
2 学期	<p>戦乱期の文学から中世思想へ：随筆や軍記などの読解を通して戦乱の中で生きる人間の考えを理解する。</p> <p>中世的思想の発展：和歌を通して古代の意識や感覚との相違をつかみ、中世特有の思想を理解する。芸術論や、「能楽」とその本説となった伝説や文学との関わりについて学び、日本の伝統芸能への理解へとつなげていく。</p> <p>江戸物語の世界：読本の読解を通して江戸時代の文化や人々の考えについて理解する。</p>
3 学期	近代に残る古典的世界：近世の作品および近代に文語で書かれた作品を読み、古典的な世界は現代へと繋がっていることを理解する。
<b>評価方法</b>	
定期考査（70％）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30％）により評価する。	

<b>備考</b>

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択B	国語	現代文演習	2
<b>教科書・教材</b>				
『現代文解法のテクニック1』啓隆社				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
問題演習を通して、文章を論理的に読み解くちからを養成し、大学入試に対応できる力を身につける。	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
<b>1学期</b>	問題集『現代文解法のテクニック1』1～4、15
	問題集『現代文解法のテクニック1』5～7、16
<b>2学期</b>	問題集『現代文解法のテクニック1』8～10、17
	問題集『現代文解法のテクニック1』11～14、18
<b>3学期</b>	社会の問題を考え、自分の考えをまとめる。プリント教材使用
<b>評価方法</b>	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	

<b>備考</b>



## シラバス〔教科名〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択B	国語	現代文演習	2
<b>教科書・教材</b>				
問題集『現代文解法のテクニック2』（啓隆社）				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
大学入試に向けた実力完成のための演習。問題演習を通して、現代文の解法テクニックを学び、入試問題対策を行う。文章の読解力と、短文の記述力を養成する。	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
<b>1学期</b>	問題集『現代文解法のテクニック2』設問1～4
	問題集『現代文解法のテクニック2』設問5～8、14、15 入試問題演習
<b>2学期</b>	問題集『現代文解法のテクニック2』設問9～11、16 入試問題演習
	問題集『現代文解法のテクニック2』設問12～13、17、18 入試問題演習
<b>3学期</b>	入試問題演習
<b>評価方法</b>	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	

<b>備考</b>

## シラバス〔教科名〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択D	国語	現代文演習	4
<b>教科書・教材</b>				
問題集『新演習 現代文アチーブ2』（桐原書店）				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
大学入試に向けた実力完成のための演習。問題演習を通して、現代文の解法テクニックを学び、入試問題対策を行う。文章の読解力と、短文の記述力を養成する。	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
1 学期	問題集『新演習 現代文アチーブ2』設問 1～ 5 入試問題演習
	問題集『新演習 現代文アチーブ2』評論 6～11 入試問題演習
2 学期	問題集『新演習 現代文アチーブ2』評論1 2～2 2 入試問題演習
	問題集『新演習 現代文アチーブ2』評論2 3～3 1 入試問題演習
3 学期	入試問題演習
<b>評価方法</b>	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	

<b>備 考</b>

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択D	国語	選択古文演習	4
<b>教科書</b>				
『精選古典B 古文編』東京書籍				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
文法事項の復習をしつつ、古文読解力をつけ、模試や大学入試の過去問題を解き、大学受験に向けた実力をつける。	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
1学期	説話『宇治拾遺』『発心集』 日記『紫式部日記』『和泉式部日記』 用言・助動詞の復習
	日記『十六夜日記』 物語『源氏物語』 敬語表現の復習
2学期	評論『無名抄』 物語『落窪物語』 問題演習
	物語『堤中納言物語』 評論『無名草子』 問題演習
3学期	近世文学『雨月物語』 問題演習
<b>評価方法</b>	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。	

<b>備考</b>

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択E	国語	基礎国語演習	3
教科書・教材				
『LT 現代文 1』（浜島書店）、『LT 現代文 2』（浜島書店）				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>大学入試も視野に入れ、基礎的な力を確認しながら現代文の読み方を学ぶ。 1 単位分は、文章の書き方を基礎から学び、記述問題・小論文に対応できる力を身につける。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	<p>問題演習：LT 現代文 1（浜島書店）演習問題 1～8 小論文対策：原稿用紙の使い方・具体的に書く・内容に注意して書く</p>
	<p>問題演習：LT 現代文 1（浜島書店）演習問題 9～18 小論文対策：短文要約・課題文型小論文・資料の分析</p>
2 学期	<p>問題演習：LT 現代文 1（浜島書店）演習問題 19～25 思考のトレーニング 1・2 LT 現代文 2（浜島書店）演習問題 1～5 小論文対策：データ型小論文・過去問演習</p>
	<p>問題演習：LT 現代文 2（浜島書店）演習問題 6～13 小論文対策：過去問演習</p>
3 学期	<p>問題演習：LT 現代文 2（浜島書店）演習問題 14～17</p>
評価方法	
<p>演習問題に関しては、事前に予習ができているかどうか、もしくは授業後にしっかり確認しているか、ロイロで提出させる。小論文に関しては、その都度作品を提出させ評価する。30%を平常点とし、考查結果（70%）と併せて評価する。</p>	

備考

## シラバス（国語）

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択E	国語	国語演習	3
教科書・教材		『思考の論理スイッチ』浜島書店		

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>国公立、難関私立大学入試レベルの現代文演習、入試問題対策を行う。限られた時間で長文を読み通す力、内容を整理してまとめる力、そして語彙力を向上させることを、常に意識しながら演習を行う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p>『思考の論理スイッチ』評論1～5、 段落の中心文に着目し、筆者の主張と文章の構造を把握しながら論理的に読む力と、設問の趣旨を的確につかみ、根拠をもって解答する習慣を身につける。</p> <p>『思考の論理スイッチ』評論6～10、小説16・17 問題演習を通して、論理的に考え記述する力を身につける。</p>
2学期	<p>『思考の論理スイッチ』評論11～15、小説18・19 問題演習とともに、100字要約の練習を通して論理的に表現する力を養う。</p> <p>『思考の論理スイッチ』評論16～20、小説20 制限時間を意識しながら問題に取り組み、確実に解答する力を養う。</p>
3学期	<p>資料活用問題・入試問題演習 制限時間を意識しながら、長めの文章の入試問題に取り組む。</p>
評価方法	
<p>定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。</p>	

備考

## シラバス〔国語〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択E	国語	古典演習	3
<b>教科書</b>				
『共通テスト対策 古典完答24』（尚文出版）				

<b>授業のねらい（年間指導目標）</b>	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。共通テストで出題される古文・漢文の問題に対応できる力を養成する。基礎的な語彙や文法、句形などの知識などについては EdTech 教材を使用しながら個別学習で確認し、マスターしていく。文章を正確に読み取るだけでなく、文章の比較検討に習熟し、共通テストへの対応力を養う。	
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>	
1 学期	『共通テスト対策 古典完答24』 古文：第1回～第3回 漢文：第1回～第4回 適宜プリント教材
	『共通テスト対策 古典完答24』 古文：第4回～第7問 漢文：5回～第7回 適宜プリント教材
2 学期	『共通テスト対策 古典完答24』 古文：第8回～第10回 漢文：第8回～第10回 適宜プリント教材
	『共通テスト対策 古典完答24』 古文：第10回～第12回 漢文：第10回～第12回 適宜プリント教材
3 学期	類似対策問題演習（冬期休暇中課題）
<b>評価方法</b>	
定期考査（70％）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30％）により評価する。	

<b>備考</b>

シラバス〔芸術〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択	芸術	書道	2
<b>教科書・教材</b> 使用せず。手書き手本と iPad 書道辞典を使用。				
<b>授業のねらい（年間指導目標）</b> 書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書・書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成する。				
<b>授業の進め方（年間指導計画）</b>				
1 学期	「写経」書道史から中国古典・日本古典の名筆から用筆・運筆の技能を身に付ける。 「創作」「色紙」「短冊」主体的な構想に基づく個性的・創造的な表現力を身に付ける。			
2 学期	「楷書」「行書」「草書」漢字の書を構成する様々な要素について理解を深め、書体の特色を活かして創造的に表現する技能を身に付ける。 「創作」学んだ用筆・運筆を活かし、表現力を身に付ける。			
3 学期	「年賀状」「カレンダー」日常生活と書の文化との関わりを通して心豊かな創造力を身に付ける。 「色紙」学んだ用筆・運筆を活かし、個性的・創作的な表現力で座右の銘を卒業記念の作品として創作する力を身に付ける。			
<b>評価方法</b> 「写経作品」「創作作品」授業時の「書」に取り組む意欲と姿勢により評価する。作品70%、平常点30%。				

<b>備考</b>